

# 山行報告書

報告書作成

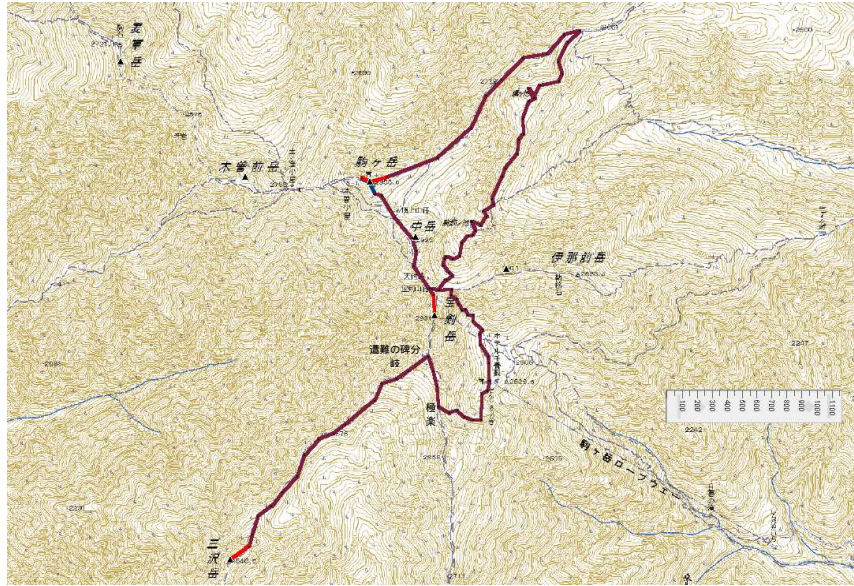
2007年7月31日

山名 [山域]	木曽駒ヶ岳・宝剣岳・三ノ沢岳[中央アルプス]	目的と方法	新人対象テント山行
登山期間	2007年7月28日(土)～7月29日(日)	山行形態	ピストン(クロス登山)
参加人数	Y隊5人(その他H隊5人・N隊6人)		

## 行動記録

7/27(金)岩津市民C(2100)=153号==飯田IC===駒ヶ根IC(2350)===菅の台PKG(000,020テント設営消灯)  
 7/28(土)菅の台P(400起床,425順番取,500発車)===しらび平(525,535)+++千畳敷(545,625)---宝剣山荘(720,735)---駒飼ノ池(800,830)---濃ヶ池(920,950)---馬の背尾根分岐(1010,1020)---木曽駒ヶ岳頂上(1208,1225)---宝剣山荘(1300,1320)---頂上山荘キャンプ指定地TS1(1345)・消灯(1930)  
 7/29(日)TS1起床(345,535)--宝剣岳(630,640)--宝剣山荘(715,720)--千畳敷(805,810)--極楽平(840)--遭難の碑分岐(855,900)--三ノ沢岳(1045,1100)--極楽平(1236)--千畳敷(1305,1522)+++しらび平(1540,1545)==菅の台P(1615,1622)==こまくさの湯(1625,1720)==駒ヶ根IC(1725)==飯田IC=153号=岩津市民C(2000)

## 概念図



## 日誌

7/27(金)KKさんをピックアップし乗合で岩津Pに着く、ほとんど車が無いので中止になったかと思ったが暗闇にメーハーがいたので集合場所時間に間違いは無かったと安心した。5人で和気あいあいの楽しい会話とカバトルビデオの見せつけで23:50菅の台Pに到着、今年から400円/台取られる、一番奥でプラド横にテント設営00:20消灯、私はプラドで隔離。

7/28(土)晴れのち曇り時々雨のち霧。4:00起床、テント撤収後4:25にバスの順番取りにザックを持っていくがすでに50人以上並び、3目くらいのバスに乗り5:00発車、しらび平5:25、千畳敷5:45着、山準備トイレ朝食後6:25登山開始。周りは雪渓が多く残り雪解けが遅れていると感じる、その為か、花が私たちを待っていて、全てのお花が、たった今、満開になった様でした。宝剣山荘に7:20に着いてしまった、早いのでサブザックに行動水、行動食、雨具で濃ヶ池へ出発。20分で駒飼ノ池、更に30分で濃ヶ池に着くがどちらも砂に埋もれている。道中は素晴らしく花が咲き誇り、人どおりも少なく、自然のままの道と感じた。また途中、人間を気にしない猿の群れを見学(猿が人間の群れを見学かも)、甘い花をついばんだり、昼寝したりしていた。濃ヶ池は天国のような池。大神の墓石を自分の先代が建てたという人がいて濃ヶ池の水は何年たっても腐らないので汲みに来たそうだ。馬の背尾根に出たあたりで10:15定期交信,RHM局と本日初交信成功。なつかしのHさんの声と予定通りとのことでみんな安心した。駒ヶ岳山頂に着き西側へ回り込んで今度はDHE局と初交信成功、N氏の声がうれしい、RHM隊のテント場到着予定時刻(16:00)を伝え、DHE隊は少し早く15:30ころ到着しそうとの事で2張分のスペースを確保。無線が有効でした。N隊15:30着、H隊16:00着で握手で歓迎しました。テント4張で各隊の新人を酒の肴に乾杯する。我隊は豚汁がうまく腹いっぱいいただきパワーアップです、私は一人用テントで隔離19:30に消灯。Nさんテントからはなつかしの歌声が心地よい。

7/29(日)晴れのち曇り時々雨のち霧。H隊は3:00起き5時発、N隊と我Y隊は3:45起き5:40発。我Y隊は宝剣岳踏んで宝剣山荘へ戻り、一旦ロープウェー駅千畳敷に下り、サブザックになって極楽平に30分程上り返す。遭難の碑分岐より本日の目的地三ノ沢岳をピストンする、ここはやはり人が少なく三ノ沢岳直下で見事なお花畑に感嘆の声が続く、谷底までずっとお花が咲いていて、まるで北海道にいるみたいだ。千畳敷に13:05に戻り整理券で2時間30分待ちだ。ここで労山のあつた勤労者山岳会の方々とお話しする、やはり新人山行とのことで、新人のテンション上がりっぱなしで心配とのことでした。雨もふりだし駅内は満員、15:22乗車、菅の台P16:15着、帰りのバスで隣あわせた人は伊豆ハイキングクラブの人で気が合いました。こまくさの湯600円でさっぱりして帰岡する。今回の新人山行により新人だけでなく先輩会員も結束できたと感じました。良い企画でした。